

第3 1回全国金魚すくい選手権大会奈良県予選公式規程

第1条 競技用具

- 1 用具は全て主催者の用意した物を使用するものとし、ポイは競技の直前に渡すものから1分以内に選びそれを使用する。
- 2 水槽の大きさは縦136cm、横65cm、深さ23cmとする。
- 3 ポイは5号・内径約8cmとし、個人戦・団体戦とも1名1枚限りとする。
- 4 ボールはお椀型、内径20cm以内とし、個人戦は1人に1個、団体戦は1チームに2個使用する。
- 5 水深は約10cmとする。
- 6 競技中エアーポンプの使用は、原則的に一時中断する。
- 7 競技者は、必ずゼッケンをつけて競技しなければならない。

第2条 金魚

- 1 種類は和金のみとし、寸法は4cm程度とする。
- 2 1水槽の収容数は約1000匹とする。

第3条 競技の種類

- 1 競技は個人戦は小・中学生の部と一般の部に分けて行い、団体戦は3人1チームで行う。
- 2 競技は、1人1枚のポイで3分間で何匹すくえるかで競う。
- 3 1水槽の競技者は個人戦4人まで、団体戦2チームまでとする。
- 4 審判員は、各水槽に4人以上とする。

第4条 競技の開始と終了

- 1 競技者は、必ず競技開始10分前の招集コールに集合しなければならない。
- 2 競技はスターターの合図により開始し、「1分経過」「2分経過」「10秒前」のかけ声を経て、5秒前からカウントダウンし、合図で競技終了する。
- 3 競技時間内であってもポイが使用不能になった時、又は競技の停止の宣告をうけたときは、その競技者は競技を終了しなければならない。

第5条 成果の認定

- 1 競技終了後、審判員は直ちに匹数をタブレット係に報告しなければならない。
- 2 個人戦の一般の部は一回戦6組各20位まで、小・中学生の部は一回戦3組各40位までを準決勝進出とし、一般の部は準決勝2組の各30位まで、小・中学生の部は準決勝2組の各30位までを決勝進出とする。団体戦は、一回戦6組各10位までを準決勝進出とし、準決勝2組各15位までを決勝進出とする。ただし、参加応募状況により、運営の判断による本予選の組み分けの再編成を行う場合がある。なお、確定した組み分けについ

ては、大会エントリーはがき、および当日配布の冊子にて確認すること。

- 3 一回戦で同匹数の場合は抽選で準決勝進出者を決定する。準決勝で同匹数の場合は、一回戦の匹数により決勝進出者を決定する。一回戦も同匹数の場合は抽選で決定する。決勝の順位決定において同匹数の場合は、準決勝の匹数で決定する。準決勝の匹数も同数の場合は一回戦の匹数で決定する。一回戦も同匹数の場合は抽選で決定する。決勝戦の結果として、一般の部 1～40 位、小・中学生の部 1～40 位、団体の部 1～20 位を全国大会出場選手とする。

第 6 条 競技規則

- 1 競技者は必ず片手で競技を行い、もう一方の手でボールを触れてはならない。
- 2 競技者はポイの円の部分に触れて競技をしてはならない。
- 3 競技者は水槽の壁面を利用してポイで金魚をすくい上げる行為をしてはならない。
(壁すくいの禁止)
- 4 競技者は金魚をすくう際、ポイを水面から完全に上げずに金魚をボールへ流しこんではならない。(流しこみの禁止)
- 5 競技者の配置は、別図「選手の配置について」のとおりとする。
- 6 競技者は整列中から体育館シューズもしくはスポーツシューズを着用して競技するものとする。
- 7 団体戦において各競技者は、ポイは自分のポイ以外を使用してはならない。また、他選手の助力行為をしてはならない。
- 8 競技者は競技中に、肘関節を水の中につけてはならない。
- 9 競技中に反則行為を繰り返す場合、3 回目をもって競技の停止を宣告する。
- 10 反則行為、又は著しいマナーの欠如により審判員より競技の停止の宣告を受けた者は、直ちに競技を終了しなければならない。審判員に対する暴言等の威嚇的行為については競技停止とする。
- 11 反則行為によってすくった金魚は計数しない。
- 12 金魚がすくえない状態まで破れたポイの枠で金魚を引っかけてすくうことは動物愛護の精神に反しますので、競技停止とする。

第7条 競技者の心得（マナー）

- 1 競技者は常に金魚すくい技術の向上につとめるとともに動物愛護の精神を涵養し、金魚に愛情をもって接するものとする。
- 2 競技中、大声を出したり、談笑したり、他の競技者の集中力を妨げるような行為をしてはならない。

第8条 表彰

- 1 各部門上位3位まで表彰する。

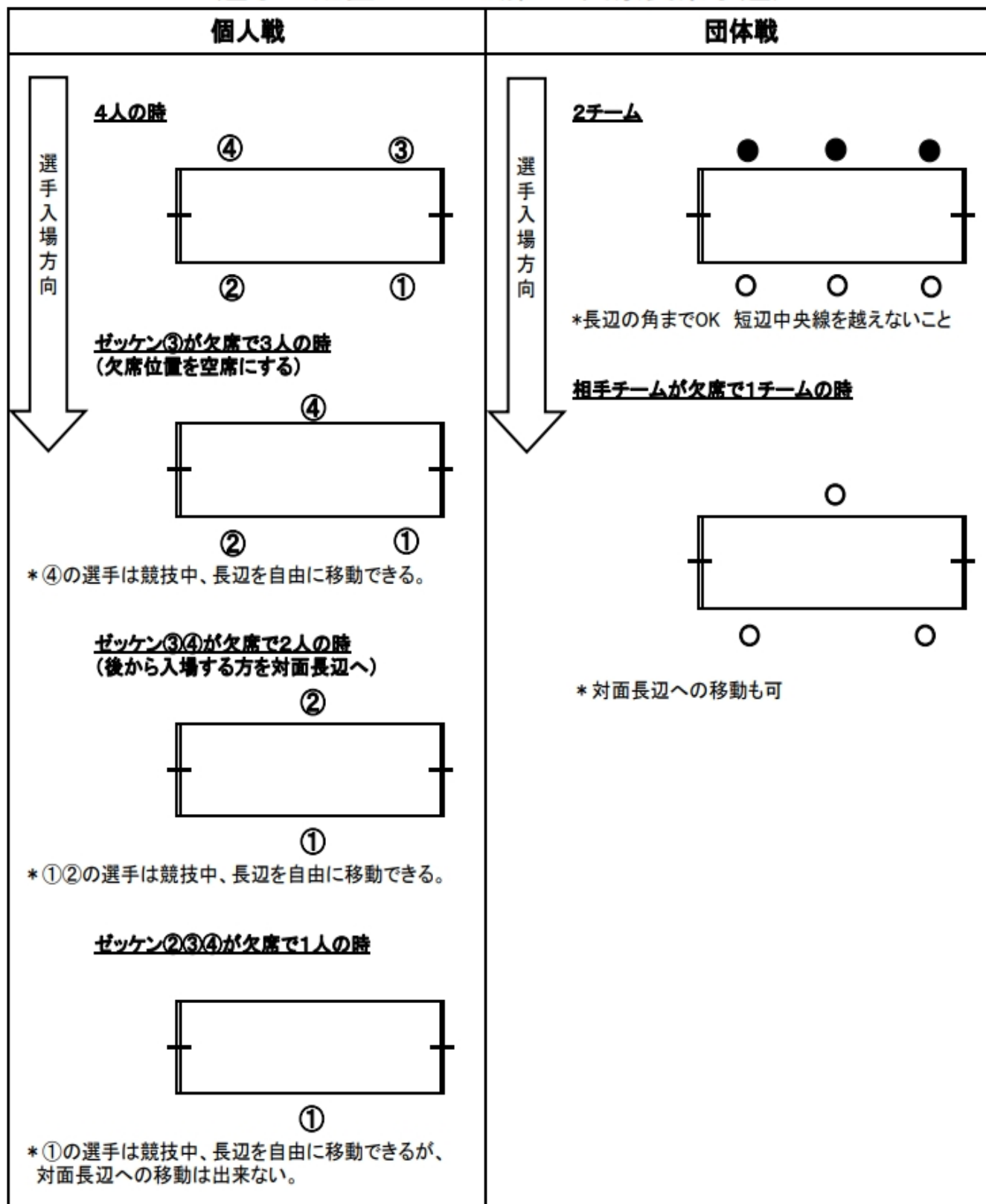
選手注意事項

- 1 本予選は、第31回全国金魚すくい選手権大会奈良県予選公式規程によって行います。
- 2 選手はプログラムを確認し、競技開始10分前にはプラカード前に集合してください。集合時間に遅れると失格となりますのでご注意ください。
- 3 選手は本予選終了まで必ずゼッケンを胸と背中の中2カ所に付けておいて下さい。
- 4 団体戦キャプテンの方はキャプテンマークのついたゼッケンを付けて下さい。
- 5 競技運営の支障となりますので、選手以外の人は絶対に競技場内に入らないで下さい。
- 6 選手はプラカードの誘導に従って水槽へ入場し、競技終了後も誘導に従って退場して下さい。
- 7 同匹数抽選場所では準決勝、決勝進出者の抽選・発表がありますので指示があるまで解散しないで下さい。尚、団体戦はキャプテンのみ抽選場所へ入って下さい。
- 8 選手は必ず審判の判定に従って下さい。
- 9 故意に金魚を痛めつけるようなことは絶対にしないで下さい。
- 10 エアーポンプ・エアーホースを踏まないように注意して下さい。
- 11 金魚が著しく弱くなった場合、競技中もエアーポンプを使用する場合があります。
- 12 金魚は影に集まる習性があるため、麦わら帽子など、自身の影が大きくなるような帽子等を着用しての競技参加はできません。
- 13 貴重品は、各自で管理して盗難には十分注意して下さい。
- 14 本予選中のけがについては、参加者の責任にて処置してください。また、主催者は応急処置以外その責任を一切負わないものとします。
- 15 予選参加者は、大会中の判定については、全て主催者の決定に異議がないものとします。
- 16 予選参加者は、主催者による大会中に撮影された写真・動画の使用、マスコミからの出演依頼等への連絡先紹介について、異議がないものとします。
- 17 大和郡山市ホームページにて、予選参加者の氏名を含む競技記録を公表します。
- 18 全国大会に進出した場合、全国大会の映像を「YouTube」で配信することについて、大会参加者は異議がないものとします。

観戦者注意事項

- 1 競技中に水槽の近くで大声で騒ぐ等の行為をする者に対しては、審判員より退場を宣告する場合があります。

選手の配置について(第31回奈良県予選)



- ・個人戦、団体戦ともに、水槽の短辺(上図中、二重線部分)に座ることは不可です。ただし、コーナーは可。
- ・水槽の短辺中央にテープを貼りますので、そこから選手の身体がはみ出さないようにしてください。
(ボイを持った手が短辺中央のテープを越えるのは可)
- ・団体戦1チームの場合、水槽対面(長辺)への選手の移動は可能です。
- ・競技開始前に、水槽に影を故意に作ってはいけません。